

東濃社会教育だより NO19

— 研修・公民館編 —



恵那県事務所
振興防災課 振興防災係
社会教育担当:長瀬
〒509-7203
恵那市長島町正家後田 1067-71
TEL:0573-26-1111 内線 208

土岐市公民館館長・主事合同会議の様子から



土岐市役所にて、土岐市公民館館長・主事合同会議が開催され、肥田公民館、駄知公民館、鶴里公民館の実践発表と意見交流が行われました。どの公民館も、独自のよさをいかした素晴らしい発表でした。

土岐市は、来年、全ての小中学校がコミュニティ・スクールとなります。子どもの健全育成に向け、公民館と学校との協働が益々期待されます。



合同会議の様子

実践発表から「学んだこと」と「よさ」

肥田公民館 地域を担う人材育成 肥田ヤングスターズ

- ・「地域で貢献する若者を育てる」を目的に、公民館で「肥田ヤングスターズ」が発足した。
- ・課題解決に向け実態に沿った改善策を考え、よりよい協働を目指している。

「参加から参画へ」「コミュニケーション力の向上を目指した工夫」「ヤングスターズ OBOG 発足」

- ・新規事業にチャレンジする姿勢があり、講座に学びの場と工夫（遊び心）が見られる。

駄知公民館 スポーツ吹矢講座

- ・ブレイクを予感させる新しい講座（スポーツ吹矢）へのチャレンジがよい。
- ・スポーツ吹矢は3拍子揃った講座。（健康によい！競技性がある！誰でもできるのがよい！）
- ・駄知公民館が開催する独自の講座がよい。（インディアカ、韓国語講座、映画観賞会、水墨画など）

鶴里公民館 「協働に向かって」多団体との協働による新規企画の立ち上げ

- ・「ワンコイン・カフェ」を、民生児童委員会や町内の理解のもと実施している。
- ・カフェに集まっている人の特技や趣味を聞き、知恵や技術を次の世代につなげようとしている。
- ・「ホテルまつり」「三国山元旦歩こう会」など、協力団体が多く、人材が豊富などところがよい。

ぎふ地域学校協働活動フォーラムの様子から

フォーラムでは、文部科学省の佐藤氏から「『今、なぜ地域学校協働活動/コミュニティ・スクールなのか』を改めて考える」を演題に、国の動きや全国の先進事例を聞きました。

ここ数年、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体化を目指し、本部の立ち上げや推進員の設置を検討する市が増えてきました。

約140名の参加者は、輪之内町や山泉市の実践事例から具体的な活動内容を学ぶことができました。

日時：2月17日（月）

場所：岐阜大学サテライトキャンパス

講師：文部科学省 総合教育政策局 地域学習推進課

地域学校協働活動推進室 室長補佐 佐藤貴大氏

実践発表：輪之内町・山泉市



フォーラムの様子

佐藤氏の講話内容【抜粋】

- ・協働とは：立場の異なる人たちが、**同じ目的のために対等の立場**で協力して動くこと
- ・目標の違い：地域と学校はそれぞれ「**第三者**」の立場で、**バラバラな目標**に向かうことがある。
- ・地域連携＝「貸し借り」？ → これは「**課題・目標・ビジョン**」の**共有**が不十分なため。
- ・活動のプロセスが共有されていれば、「**協働**」になる。
- ・地域と学校の間で「**なぜこの活動を行うのか**」が共通理解されていれば「**地域学校協働活動**」

山県市の実践【抜粋】 **学校の課題を解決する地域パートナーシップ**

- ・学校課題に対する地域のアプローチ「放課後子ども教室：Study Habit」「地域未来塾：Fight Basic」
- ・「学校の要望に応えるボランティア人材」を「学校を支える地域人材」に！
- ・「Study Habit」の成果として、児童の学習に取り組む姿勢と基礎学力が向上した。
- ・地域住民が、地域の子どもの教育について考えるようになった。
- ・「地域住民の人材不足」「学習習慣の定着に向けた工夫」などの課題もある。

輪之内町の実践【抜粋】 **輪之内町における地域学校協働本部の立ち上げ**

～まちが必要とする本部、推進員をどう設置するか～

- ・H30年度 町CS推進協議会の立ち上げ → 学校ごとに分科会（ビジョン、組織案等について検討）
→ 町民周知のためチラシ作成、全戸配布
- ・ぎふ地域学校協働活動センター後藤助教の講演「地域とともにある学校」と地区懇談会
- ・町学校運営協議会連絡会会長の思い→**地域学校協働活動は生涯学習だ！**
- ・子どものため、地域のためにできることから始めましょう！→「**あるもの活かし**」
- ・地域学校協働活動は「**地域づくり**」。飲んで、食べて「**熟議**」をしましょう！

地域学校協働活動推進員等研修は来年度も行われます！

地域学校協働活動（地域と連携・協働し、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する活動）の推進をねらいとして、岐阜県と岐阜大学が共同で設置した「ぎふ地域学校協働活動センター」が行う、地域学校協働活動推進員等育成研修は来年度も行われます。今年度、東濃地区では22名の方が受講されました。来年度は、年間1クールのみとなります。今年度受講された方は、更なるスキルアップを目指したフォローアップ研修が、2回（6月25日、1月28日）計画されています。

	日 程	会 場
1	7月2日(木) 午後	【主会場】岐阜大学サテライトキャンパス 【遠隔会場】恵那総合庁舎
2	9月3日(木) 午後	
3	10月1日(木) 午後	
4	11月5日(木) 午後	岐阜大学サテライトキャンパス

【研修に関する問い合わせ先】※この研修は、市の推薦が受講条件となります。

住所：恵那市長島町正家後田1067-71 電話：0573-26-1111（内線208）

担当：恵那県事務所 振興防災課（令和2年3月末まで）

過去の「東濃社会教育だより」を恵那県事務所のホームページから閲覧できます。

※ホームページ掲載場所

恵那県事務所 ⇒ 「家庭教育・社会教育」情報コーナー ⇒ 東濃社会教育だより